

【22_135思考系メルマガ】トレードで稼ぐスピードは『資金量』に依存する

○○さん

こんにちは！クロガキ（クロ）です。

今日のテーマは、絶望しないように先に言っておきますが

【稼ぐ金額にフォーカスする事をやめれば、トレードは劇的に安定する】というお話です。

日々SNSの爆益報告や、他人のポジショントークで神経をすり減らしてしまっている方に是非とも呼んでほしい内容ですので

最後までお付き合いください。

■ 『ロット』を張らなければ稼げないは事実…だが

投機の中でもFXのトレードというのは、レバレッジを武器に戦うものですので

当然ながら、同じような手法でトレードをしていても稼げる金額は『ロット』に依存するところが大きいです。

この辺は、以前メルマガでも書いた『複利』に対する考え方（【112】本目参照）でも触れましたし

関連するツイートであれば、この辺ですね

▼僕の出金ルーティン（ツイート）▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1516594008214102021>

逆にロットの少なさを「手数（チャンスを増やす）」で補おうとすると、負けのトレードが増えるリスクが増えますし

一方でポジションを引っ張ってスイングをやったとしても、そこから大きく稼げるかは相場次第になるので

やはりこれも不確実性が大きくなる。

ですから、トータルの利回りがプラスになる『型』を構築する事を前提としたうえで
リスクをコントロールできる範囲で 最大限のロット を張る事が必要になるわけですが
十分な技術が備わっていない段階で、少ない資金に対し過剰なリスクを取り、取り返しようのない
損失をこさえてしまっている人が非常に多いです。

このメルマガを読んで下さっている方のほとんどは、Twitterでも情報収集をしていると思いますが
その中で他人の爆益履歴を目にして、色々な気持ちが渦巻いてモヤモヤする事も多いでしょう。

ですが、その人が普段からどんなポリシーでトレードをしているのか？
そもそも元資金がどれだけある中でそのロットを張ってトレードしているのかも分からず
稼いだ金額だけに注目するのは全く意味のない行為です。

例えば、10万円の資金を100万円にしている人がいたとしても
その10万円を失った後がない人と、実は口座に入れていない数百万の資金のうち10万円だけを口座に入れている人とは
一見同じリスクを取っているようですが、実際に取っているリスクは全く違いますよね。

あくまで『リスク』の大きさを測るときは、自分がトレードに使える資金の『トータル』で考えないといけないし

まず手元の資金を『リスク管理』でしっかりと守るために、適正なロットで運用しなくてはいけません。

□ ■ 『兼業の強み』を最大限活かそう

「じゃあ、資金を確保できない人はトレードを諦めるしかないのか？」
という話になりそうですが、勿論そんな話ではありません。

このメルマガを読んで下さっている皆さんの殆どは、何かしら仕事をしつつ、兼業でトレードに取り組まれていると思います。

中には家事専業の方もいらっしゃるでしょうが、トレードをされているという事は資金を何らかの方法で確保出来ているという事でしょう。

要は、『トレードに頼らなくても資金を確保する手段』があるという点を強みとして活かしたうえで先ず『技術を身につける』ことに徹底して注力するのです。

幸い、国内外問わずあらゆるブローカーで、無料のデモ口座を解説する事が出来るわけですから

検証を通じて試作した型が機能するかをフォワードテストするのには、お金はかかりません。
そこで技術を磨いている期間に、少しずつトレード用の資金を確保しましょう。

目安の資金は50万～100万円位。

その資金に対し、2～3%のリスクを取るトレードをやる想定で取り組めば
デイトレで月利回り10%位を安定的に出すことはセンス関係なく可能です。

これくらいの資金量で10%の月利ということは、月間の利益額は5～10万円くらいですから
トレードで実戦を撃ち始めた時点でこれくらいを安定して稼げるようになれば
まずは十分な結果を出せていると言っても良いでしょう。

この運用を手堅く出来るようになれば、十分相場で生き残る技術を習得出来ていると言って良い
レベルです。

「いざれは専業に。。。」と思っている人には、あまり面白みのない話かもしれません
トレード以外の収入源を持っているという強みは、何ものにも代えがたいものです。

もし、今の本業が収入面・業務面でキツイのであれば、トレードの技術があれば逆に
それを強みにして、自分にとって理想の条件に近い仕事に転職することを考える余裕も出てきま
すよね。

人々、経済的余裕・時間的余裕を得るためにトレード(FX)に取り組もうと考えている方が殆どでしょうから

みずからその『余裕』を失う必要はありません。

今の自分のリソースを最大限活かしながら、『余裕資金』を時間かけて確保し

その時間を掛けている間に『技術』を磨きましょう。